

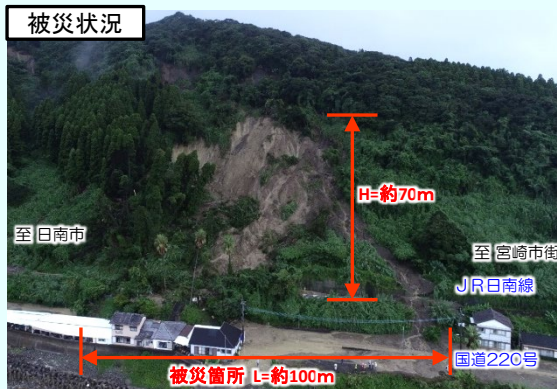
# 台風14号による現地調査 (宮崎県宮崎市大字内海)

令和3年9月16日に国道220号24k300付近(宮崎市大字内海地先)の山側斜面が局地的豪雨により崩壊し、JR日南線を越え国道220号まで土砂が流出した。

斜面からは依然として土砂の押し出しが見られたため、現地状況の詳細な把握及び対応策の検討のため、学識者による現地調査を実施した。

出席者:宮崎大学 横田名誉教授

## ● テックドクターによる調査



### 【今回の被災状況について】

- ・砂岩がブロック状に風化しているところに、周りから水が周って崩壊したと考えられる。
- ・JR小内海駅で一旦土砂が止められているが、耐えきれず少しずつ道路に流れ出てきている。
- ・道路上に流出している土砂は、崖錐である。
- ・まだ、全てが流出したとは言い切れない。

### 【対策方法について】

- ・崩壊土塊への水供給(湧水箇所複数有り)防止対策が必要。
- ・斜面上部に未崩落土砂が有るため、対策が必要。